

銚田市商工会青年部会報



微 明

No.31 平成 22 年度版

発行日 平成 23 年 3 月 31 日

編 集 銚田市商工会青年部

広 報 委 員 会 部

発 行 者 銚田市商工会青年部

部 長 小 島 達 也

銚田市銚田 2482-1

TEL 0291-32-2246

Contents (目次)

- P1. 商工青年祭、発刊にあたり
- P2. 市長との懇談会、野球、主張発表
- P3. マラソン、お見合いパーティー、親睦旅行
- P4. 新入生・卒業生紹介、いちご酢・ドライいちご



第二回 商工青年祭

去る平成二十二年十月二十三日(土)銚田市商工会青年部主催の第二回「商工青年祭」が銚田市役所に於いて行われました。

商工青年祭

伊原 奨

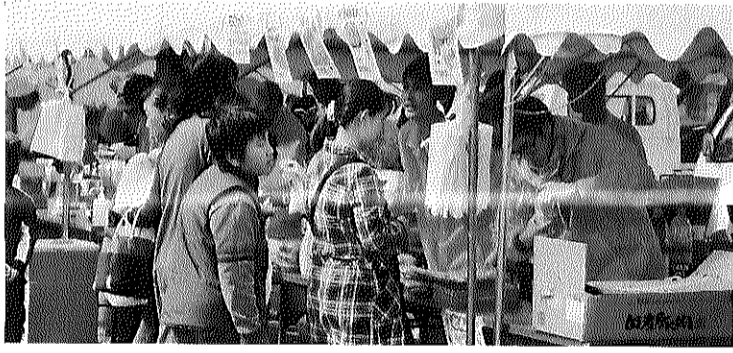
昨年より屋台村改め商工青年祭となりました。

旭、大洋、銚田の青年部員たちが一丸となり商工青年祭を盛り上げてくれました。地域振興委員長の私としては何よりも心強かったことでした。

また、銚田町単体で行っていたときは人数が少ないから、などと楽なほう楽なほうへと気持ちが行っていたんだと思わされました。今までは何をか使えばいい、変える必要はない、新しいことをするには至らず足踏みをしている状態でした。

商工会青年部も合併することにより不満をお持ちの方もいると思います。

地域的考えや商売の違い、色々な違いでぶつかるともありませんでしたが、今では本音で話し合える仲間、いえ友達となりました。よき友同士が力を合わせ



開催当日までの準備期間中も笑いの絶えないとても楽しい時間でした。

イベント、屋台、全体的に新しいことにチャレンジしてみようという気持ちでくれたのもみんなのおかげだと思っています。

イベントでは型抜きやミニカーを使つてのゲーム、大声コンテストなど。勿論大盛況でした。

屋台では新メニューを入れてみたりもしました。定番メニューは相変わらずの売れ行きで、ビールといえは欠かせない枝豆！これはいけると思っていたのですがこれは大失敗でした(苦笑)。

今回は他の地区で別なイベントがあり来場者も少ない結果となつてしまいましたが、来て頂いた皆様の笑顔や楽しそうに笑っている声を聞けただけでも今年の商工青年祭は成功したのではないかと思います。

来年は普段からお世話になっているお客様や市民の方々にもっともっと喜んでいただけるような商工青年祭にしたいと思っています。



微明発刊にあたり

青年部部长 小島 達也



まずは、微明が発刊出来ました事を広報委員会、部員、事務局、その他各関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

さて、平成二十一年度より部長職を拝命し二年が過ぎ、無事に部長職を退任させて頂く事となりました。部員の皆さんも、家業に、そして青年部活動に尽力したものだと思えます。長引く経済不況の折、我々小規模事業者において、最も危機感を持たなくてはならない状況にあるのではないのでしょうか。

我々小規模事業者には厳しい状況が今後も続いていくと思えますが、青年部活動を通じて自己研鑽し、そして楽しみながら活動を続けていきたいと思います。

最後になりますが、私といいたしましても、青年部事業に追われながらの二年間でしたが、部長としての責任を果たせたかどうか疑問符が付きますが、それをカバーして頂いた副部长、そして部員達、事務局には改めて感謝しております。ありがとうございました。

そういって今年度我々青年部では、農商工連携という新しい分野に着目し、特産品開発事業を試みました。地元の農産物を、地元の事業者が加工し、地元業者が販売するという事をメインテーマにしております。

開発、製造、市場調査と、かけあしで行ってまいりました。その会議において長時間議論する姿を見て、経営者としての部員達の方を強く感じた事を思い出します。この事業もまだ種をまいたばかりですが、必ず花を咲かせる事が出来ると私は信じ、次年度以降もぜひ継続していつて欲しいと思っております。

我々商工会青年部はまだまだ発展途上の段階であり、環境、状況はこれからもどんどん変わっていきます。しかし、青年部員が根底に持っている情熱と、地域経済団体の先駆者であるという心構えを常に持つていければ商売に繋がる何かを皆で見つけていく事が出来るのではないのでしょうか。

主張発表会

礼 新一朗

七月に、つくば国際会議場にて行われました茨城県主張発表会に出場する機会をいただきました。

はじめは自分にできるかと心配もありましたが、練習段階から部員の皆様に、「もつとココを強調したらイイよ！」

「視線は遠くを見るように！」
「下を向かず、ゆっくり抑揚をつけて！」

「優勝も大事だけど、自分の思いを伝える事が大切だよ！」
など多くのアドバイスをしてくれたおかげで、自信を持って本番に臨むことができました。

いざ当日、多少の緊張もありましたが、わりとリラックスした状態で会場入り。まず発表順を決める抽選箱を引いたんですが、これがなんと一番目！
「えっ！マジで！トップバッターなの！」と思いつつも、ここまできたらやるしかないぞと

気合を入れなおし、いざステージへ。張り詰めた空気が漂う中、私の発表が幕を開けた。
青年部活動に参加して

多くの出会いと共に！

「いま、春が来て、君は...」と歌い出しから始まり、「私の商売は野菜の卸業をしています。自分が自営業をするとは思っていませんでした...」

起業する前は、輸入野菜の営業マンをしていて...そんなある日、友人からいただいたトマトを食べた時、あまりにもおいしくて地元にもこんなにおお

いしい野菜があったんだと気づかされました。この野菜を売りたい！もつと多くの人たちにこのおいしさを伝えたいと思いついて営業を始めました。

同時に商工会青年部に入部し参加することで、これまで一人で考えてばかりだった自分が青年部の仲間のおかげで少しずつ頭も柔らかくなり、商売のノウハウから人を敬う心、慕う大切さを学んでいきました。

そんな時、商工会で推薦している経営革新を知りました。経営革新計画のテーマは、規格外野菜の加工、消費者への直売です。

野菜をただ販売するのではなく、自分にしかできないことをやろうと考えた末、まず干し辛作りから始めました。その後、さつま芋プリンも開発し、お客様からも「おいしいね」と言っていただけのようになりました。

ちよつとしたアイデアをカタチにして、主張して商売していく。そんなチャンスがこれからの銚田にはたくさんあると思います。これからの銚田に期待です。

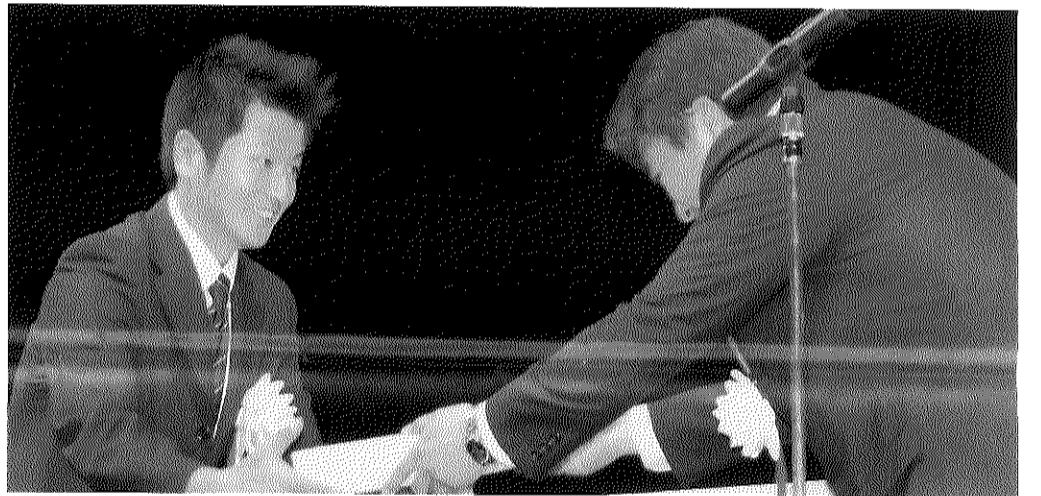
「いま、夏が来て、僕らは...」とつづいた。御静聴ありがとうございました。

短いようで長かった十分間のスピーチが終わると、応援してくれた方々の拍手をいただき、ほっとしました。途中内容を忘れそうになりましたが、みんなの応援してくる顔を見て、

何度も練習したことを思い出し、なんとか最後までスピーチすることができました。

毎年行われる大会ですが、鹿行プロックより二年ごとに銚田からの出場となる主張発表大会。結果は入賞ならずでしたが、この経験により出会いも増え自信にもなりました。

私の夢は人と人がふれあい、おいしい野菜をみんなに提供していくことです。小さなことがきっかけとなり商売に繋がることがたくさんあると思います。そんなことを再確認させてくれるいい経験でした。本当に皆様ありがとうございました。



青年部野球大会 長峰雄一

平成二十二年十月四日、水戸市民球場にて開催された商工会青年部野球大会に出場し

旭、大洋、銚田の商工会合併後、初の県大会出場。しかも初戦の相手はライバル大洗町商工会。過去に二度決勝で敗れているチームが相手となると、否が応でも気合が入る。

むかえた初戦。霧雨が降りしきる中、試合開始。グラウンド状態が悪いせい、互いにエラーによる失点を重ねる。そして一点差でむかえた終盤七回、疲れが見える相手投手を

商工会。はつきり言ってよく知らない。戦力も町の場所も。初戦を見る限りではそこそこやるかなという程度。だと思っていたんだが。

初回、いきなり三点取った。しかもタイムリーで。銚田市商工会にしては珍しいことだ。相手投手が初戦に続いて連投となり疲れしていたのも一因だろう。しかしその裏すぐに同点にされる。こちらの投手も初戦に続き連投。自分だけ。監督には連投は無理ですと試合前に伝えましたが、いざ行けの一言。ドSなのだろう。球がはしるわけがない。

続く三回にも一点取られてようやく投手交代。ベンチで休めると思いきや、センターに入れたこと。どこまで自分をこき使えば気がすむのだろうか、この監督は。

しかしこの常総市商工会。初戦は手を抜いていたのか、かなり強い。特に二回からマウンドに上がった投手が素晴らしい。聞けば常総学院の元エースで甲子園経験者だそう。敵うわけがない。案の定、二回から味方打線は完全に封じ込められ、結局五対三で破れた。力負けだ。今までも散々言われてきたことだが、やはり欲しい新戦力。特に若くて活きのいい投手が欲しい。自分ももうベテランの域。一試合投げきるのがやっとになってきた。ていうかも投げたくない。

来シーズンには監督も代わる。心機一転、打倒常総市商工会を目標に頑張りますよ。

叩き、一挙五点をあげ、試合を決めた。過去に対戦経験のある先輩達はどう感じたかはわからないが、初めて対戦した自分が感じたのは、皆が言うほど大洗つてたいしたことないなということ。打撃も守備もそれほど凄みは感じなかった。しかし試合後に聞いた話だが、大洗商工会は主力だった選手達が退部したため大幅に戦力ダウンしたこと。自分が感じていたことを、先輩達も感じていたかもしれない。続いて準決勝。相手は常総市



市長との懇談会 山崎順司

平成二十二年三月二十四日(木)午後七時、銚田市商工会に於きまして銚田市長との懇談会が行われました。

市長は銚田市の現状とこれらについてお話し下さいました。銚田市の産業は農業が主であり、その農業が更に発展する為には農作物のブランドアップが重要だとの事でした。

銚田には、イチゴ、メロン、サツマイモ等、全国的にも出荷量の多い農作物があり、これらのブランドアップをはかる為にも、銚田市のイベント「うまかつフェスタ」をはじめ、市長自ら県内外でPRをし、その結果銚田の知名度も上がってきているそうです。最近では、銚田産サツマイモ「紅あずま」を原料とした芋焼酎「紅芋」を「づく」の人氣があるようです。

銚田に住んでいる私共としても、銚田の知名度が上がる事は嬉しい限りです。次に、銚田市の財政面についてお話し頂きました。決められた予算の中で数多くの事業を行わなければならない中、下水道整備は茨城県内でもワースト1で遅れを取っているため、整備を整えていくとの事でした。下水道の整備が整えば更に住みよい街になり、水質悪化が深刻な北浦の浄化にも繋がっていくのではないかと思います。

今回市長のお話を聞き、銚田市の現状が大変よく理解できました。我々も銚田で商売をさせているので、これからの銚田市の発展の為にも少しでも力になれればと思います。

NEW YEAR PARTY

平塚 里和

平成二十三年一月三十日、鹿行地区商工会青年部連絡協議会主催の、NEW YEAR PARTYに参加してきました。

このPARTYはいわゆる婚活PARTYで、鹿行地区の商工会青年部が持ち回り幹事をしないPARTYを開きます。

今回、幹事を引き受ける商工会青年部は、銚田市商工会青年部です。

PARTY会場は、ザ・ロイヤルオーシャンという名前のゴルフ場で、銚田市大蔵にありま

す。受付は午後一時半から、PARTYの開始は午後二時から

です。私は午後一時半頃会場に到着したのですが、自宅は旧銚田町でも茨城町寄りの方、PARTY会場は旧太洋村でも鹿嶋市寄りの方ですので、会場に着くまで四十五分ぐらいかかってしまいました。

PARTYは、まず全員の女性と着席をして一対一で約三分間ぐらい会話をします。時間が来たら男性側が席を移動します。四十人ぐらいの人が一斉に話を始めるわけですから、相手の話もろくに聞き取れないくらいです。しかし、この段階での目的は気にいった相手の名前と顔を覚えておく事です。これにのちに重要になります。それが終わると、フリータイムです。ここで先ほどチェックした女性と会話をします。いかに早く女性の所へいき、会話を始めるかが重要になります。女性が別の男性とすでに会話を始められている場合は、いかに間に合って自分との会話にもち込めるかがカギとなります。会話をす



平成二十三年一月三十日、鹿行地区商工会青年部連絡協議会主催の、NEW YEAR PARTYに参加してきました。

ほこたマラソン

小橋 一男

今年も、ほこたマラソン大会が一月二十三日に開催されました。参加人数も一五三六名という大勢のランナーが集まったようです。そして僕達も例年のように、一五〇〇食の無料豚汁配布の準備を前日より始めました。まず昼間は僕と赤羽君とで旭支所より大鍋の運搬です。たかが鍋なのですが五〇〇人分も一度に作れる鍋二個ともなると、建設会社のユニック出動です。赤羽君、無料出動ありがとう！鍋が到着すると、みんな何持ってきたんだ？という眼差しで鍋を見ていました。そのくらい巨大な鍋なのです。夕方からは、銚田市商工会に集まり野菜切です。大根・人参・葱・白菜、やはり毎年の事ですが、みんななぎこちない包丁裁きであります。それでも部員達はしゃべる事も忘れ、黙々と刻んでいました。そんな中、鬼沢副部長は、自宅の厨房で沢山の野菜を準備して商工会に持ってきてくれました。どおりで野菜が少なすぎです。更に今年は毎年下準備に悩まされる牛蒡がないので、仕込み作業は思ったより早く終わりました。それにしても、あんなに沢山の野菜を、鬼沢副部長一人で切ったのでしょうか？(素晴らしい！)この日は、小島部長の「明日は六時集合！」の一声で解散しました。

そして、マラソン大会当日を迎えました。寒さは厳しいものの快晴に恵まれ、絶好のマラソン日和でした。朝、商工会に向かい、全員で荷物をトラックに積み込み、準備万端で会場入りしました。そして仕込みスタート！

一五〇〇人分の豚汁は、かなりの時間がかかりました。最後の味の仕上げは、「鬼沢副部長」青年部一の料理人です。今年は牛蒡がないので味に深みが出るか心配していましたが、素晴らしい仕上がりました。(来年も牛蒡はなしに！)

大会も市長の挨拶にてスタート、部門ごとに次々とランナーが走り出していきます。そして時間がしばらく経過すると、最初にスタートしたランナー達が帰ってきました。ここで我が青年部の出番です。早速、無料豚汁配布を開始。いつもの事ですが、ランナーではない観客に「豚汁頂きますか？」と声をかけられ、僕と小島部長は迷わず「どうぞどうぞ」と配布してました。選手全員いきわたるかどうかの心配もありましたが、無事選手全員そして観客達にも配布できました。

そして、疲れ切った体に鞭を打ち、資材運搬・調理の後片付けを行い、最後はあの巨大鍋を旭支所まで運搬し、本日の業務完了。終わってみれば、午後三時を過ぎており、みんなお疲れ様でした。

ボランティア活動ではありませんが、ランナー、そのランナーを応援する家族、観客、そして我々青年部員、それぞれの笑顔が光る、爽やかな、二〇一〇・ほこたマラソン大会でした。



ほこたマラソン大会の様子。

大阪視察旅行

飯島 寿博



我々銚田市商工会青年部は去る二月五・六日の日程で、大阪は商人の町ならば方面へと視察旅行へ行ってきました。

親睦を兼ねた青年部の旅行も三商工会合併後今回二回目となり、部員同士この一年間の活動を通して、互いに性格や考え方などの個性を解り合ってきた一体感の様なものを感じる事が出来る、清々しい旅になりました。今回の幹事を担当させて頂きました自分と致しまして、皆様のご協力のお陰で無事に旅を終えることが出来ました事、この場をお借りしまして御礼申し上げます。誠に有難うございました。

さて旅行は第一日目、子供たちのインフルエンザ等の影響もあり当初予定していたよりも少ない十二名での出発となりました。早朝四時五十分羽田行きのバスに乗り込むと、小橋副部長が何やら差し入れを配り始めました。それは正しく「クラッシュ・ストロベリー」です。我々青年部で農商工連携地域活性化事業に於いて開発中の「ドライ

莓」をトッピングした冷凍莓のデザートは、まだ寝ぼけ眼の我々の頭をすっかり目覚めさせてくれました。

そして空港へ到着。バスを降り立つとそこには体の大きな笑顔の男性が待っています。

今回の旅行を手配していただいた神栖市商工会青年部員で木之内喜則さんです。木之内さんのおかげで朝食を食べ、無事搭乗手続きも済ませることができました。木之内さんのお心遣いには、感謝感激でした。飛行機に乗るとあつという間に大阪伊丹空港へ到着。ホテルに荷物を預けて、早速、大阪城へ向かいました。大阪城は天守閣を中心に周りを城郭とお堀が取り囲んだ重厚な建物で、全体が公園になっているので、観光客以外にも地元の中学生在が集団でランニングにきたり、老夫婦が絵を描いたりして、憩いの場になっているようでした。

我々は、大手門から桜門そして城内へと進み、いざ天守閣へ入ると豊臣秀吉の時代から大阪夏の陣の資料や合戦図屏風・鎧兜など、大阪城の歴史と共に展示してあって、当時の絢爛豪華な時代を感じさせるものでした。最上階の展望台へ出ると、そこはお城の上から欄干越しに大阪の町を一望できるスポットで気分転換にはもってこいの場所です。また、城内での記念撮影の時には、韓国からの観光客の方々にカメラのシャッターをお願いするの快く引き受けてくれたり、婦



大阪視察旅行の様子。

り際にも、韓国から来た若者に地下鉄の駅を訪ねられたりして説明するのに四苦八苦したりと、思っていた以上にアジアからの観光客が多かったようです。その後、新世界へ向かい、通天閣のレトロな街並みの中、名物串焼きを楽しみました。タレの二度漬け禁止は関東の我々には難しく、それから一度解散し、夜の宴会では、お好み焼き・鉄板焼きなど本場に食いだおれてしまうほど一同満腹になりました。

第二日目は、なんば界限を散策したり、買い物したり、たこ焼きを食べ比べたりと、それぞれ自由行動でした。やはり、なんばの町は、かに道楽やグリコの看板など色彩が派手で、若手のお笑いの芸人さんの呼び込みなど、独特の活気と匂いのする空間で、アジアや欧米を問わず観光客を惹きつける無国籍的な魅力があるのだと感じました。そして我々は、午後三時の便で伊丹を立ち、銚田に帰ってから砂叩きをして解散致しました。あつという間の二日間でしたが、小島部長を筆頭に小橋副部長や親睦委員の吉川君など多くの方のサポートのお陰で本年度の視察旅行が、より青年部の絆を深める機会となったことを願っております。有難うございました。

卒業 おめでとう ございます

(株)木村電化センター

木村 雅光

小沼興業

小沼 勝吉

旭建設工業

米川 雄一郎

(株)テラコン茨城旭工場

寺田 博志

藤枝建築

藤枝 忠

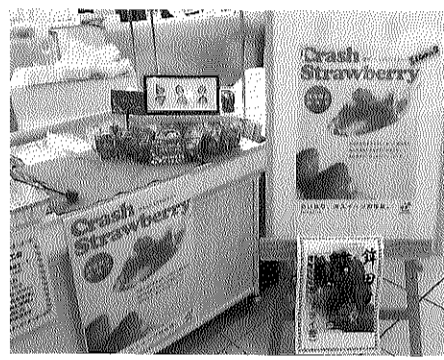
卒業おめでとうございます。
青年部活動お疲れ様でした。
これからも、銚田市商工会
青年部をよろしく願います。



いちご酢・ドライいちご

勢司 雅晴 & 達也

農商工連係事業として銚田市
青年部からは「ドライいちご」
「いちご酢」といった銚田の特
産品であるいちごを使った特産
加工品を作り、農商共に連係を



深めていくという事業を県に提
案した所受理され、今年度より
事業化に向けて準備を進めてき
ました。
銚田の特産のいちごを原料と
し、子供からお年寄までご愛飲
頂けるように何度も味見をおこ
ない、試行錯誤しながら甘さも
控えめで飲みやすい「いちご
酢」を作りました。水割りはも
とより、ソーダーや牛乳で割
っても美味しく頂けるとと思いま
す。

新入部員紹介

(有)旭運輸

土子 仁志

村田工業

村田 正志

細谷運輸(有)

細谷 直樹



ファッションクルーズでの試飲・試食

また、同じいちごを使った
「ドライいちご」も作りまし
た。スライスしたいちごを乾燥
させる事により、いちごの持つ
よい良い商品を作り上げる為
に一月二十三日のマラソン大
会、二月十九・二十日のファッ
ションクルーズで試飲、試食を
おこないました。お試しいた
いた方々から大変ご好評を頂
き、四月の発表を前により良い
製品に仕上げる予定です。
ぜひ我々青年部の作った「い
ちご酢」「ドライいちご」をこ
試食頂ければと思います。
春からの販売に向けて準備を
進めていますので、その際には
会員の皆様もご協力お願いでき
ればと思います。



東日本大震災

去る三月十一日、東日本の広
範囲で大地震がおきました。今
までに経験した事ない大きな揺
れで銚田市も大きな被害を受け
ました。

震災直後から停電・断水が続
き、いくつかの地区では、学校
や市の施設が避難所になってい
ました。電柱は傾き、多くの住
宅が全半壊になり、道路や橋も
ダメージを受け、数多くの区間
で通行止めになりました。

ライフラインが寸断された数
日間には不安な毎日ではありま
したが、人と人が協力しあい乗り
越える事ができ、改めて人と人
との絆を感じる事ができました。
数日後には水道、電気共に復
旧しましたが、家に明りが灯つ
た時、蛇口から水が出た時の安
堵感ともいえる喜びは忘れられ
ないかと思えます。

震災から三ヶ月程経過し、
徐々にではありますが復興に向
けて進み出している様に感じま
す。しかしながら、除々に解体
されていく住宅を見ると心が痛
みます。又、少なくなったとい
いえ未だに続く余震や、なかな
か終息できない原発問題もあ
り、農作物の風評被害もでてい
ます。



ただ、このまま不安がついて

ても何の解決にもなりません。
こんな時だからこそ、農商工力
を合わせ一歩一歩進んで震災前
の銚田市に戻れるようにがんば
っていきたいと思います。

「がんばろう東日本」

「がんばろう茨城」

「がんばろう銚田」



編集後記

まずはじめに、今回微明の発
刊が大幅に遅れてしまった事、
大変申し訳ございませんでし
た。震災により、広報委員間の
集まりが取りにくくなってしま
った事が大きな原因でしたが、
今まで、青年部活動の文章依頼
や写真選びなど、広報誌作成の
時期にならないと行なわなかつ
たのが現状でした。今年度から
は、早め早めの依頼で事前から
準備を行い、少しでもスムーズ
に作成が出来るようになりたい
など考えています。
今年度は早い文章依頼をお願
いする事と思いますが、文章依
頼を受けた方は、よろしくお願
いします。
微明作成にあたり、広報委
員、商工会青年部の皆様、商工
会の皆様、ご協力ありがとうございました。
(順司)